



ROTARY:
MAKING A
DIFFERENCE

ロータリー：変化をもたらす

2017～18年度テーマ

中村ロータリークラブ

例会記録 (2017～2018)

会 長/松 田 基
幹 事/荒 川 泰 士
会報委員長/星 野 努

創 立/昭和38年10月2日
例会日/水曜日 12:30～13:30
例会場/新ロイヤルホテル四万十
事務所/四万十市中村小姓町46番地 中村商工会館2F
TEL 0880-35-4551 FAX 0880-35-4553
●ホームページ <http://www.nakamura-rc.com/>

週報 No.2533

第2664回 平成30年3月28日(晴れ)

本日のプログラム：会員スピーチ 兵等 剛会員

4月4日(水)：会員スピーチ 白木 久雄会員

4月11日(水)：会員スピーチ

【会長挨拶】 杉本 一博 会長エレクト

・皆さん、こんにちは。めっきり暖かくなりましたが、この季節は花粉症に悩まされます。皆さんは、大丈夫でしょうか？

・桜の花が満開になっていますが、桜についての豆知識を紹介します。

桜の種類は固有種・交配種を合わせて600種以上。日本で代表的なのが淡いピンク色の「ソメイヨシノ」です。桜の開花は、ソメイヨシノの花びらが5輪以上になると宣言されます。これは各地の气象台が決めた標本木を見て発表しています。

ソメイヨシノは江戸時代初期に江戸染井村の植木職人たちが、エドヒガン系の桜とオオシマザクラを交配させて作り、桜が多くある奈良の吉野山で売られ全国に広まったものでヤマザクラと混同されると困るので「染井吉野」と命名されたという説と、染井村から吉野桜として売り出されたので「染井吉野」と言われている説があるようです。

ちなみに染井村は、現在の豊島区駒込付近です。巣鴨商店街の近くには染井公園があり、染井吉野発祥の地となっています。

【幹事報告】 荒川幹事

- ・4月のロータリーレート 1ドル=104円
- ・米子東RCより創立50周年記念式典のご案内 5月19日
- ・宿毛RCより例会変更のお知らせ 4/5(木) 野外例会
- ・四万十RCより 親睦「お花見」のご案内 4/1(日) 18時～岩崎公園
- ・四万十市より春の全国交通安全運動の街頭指導への協力をお願い 4/10、11朝7:40～
- ・次年度の地区補助金事業は、中村高校へ「かまどベンチ」設置となりました

【委員会報告・会員発言】 ◆梅原環境保全委員長

四万十川一斉清掃が4/1(日) 8～9時に行われます。(参加された方は事務局にお知らせ下さい)

◆青木 史仁 青少年奉仕委員長

「食育への取り組み」として、4/1(日) 10時より津蔵淵の四万十ふれーばーにて行います。参加される方は、よろしくお祈いします。

◆白木 久雄 ロータリー財団委員長

本日、5名の方より寄付を頂きました。今月末で退会される大原会員が、年次寄付額通算で1000ドルになりました。



【本日のプログラム】 会員スピーチ 兵等 剛会員



先頃、4大奉仕委員長から子ども食堂について報告が相次ぎましたので、高知新聞の過去記事などを基に最近の動きをまとめてみました。

県内で定期的に運営されている子ども食堂は2016年には10カ所前後でしたが、今年1月時点で51カ所。四万十市は1カ所で「四万十子ども食堂」が東町の共同作業所「ほっとハート」を借りて毎月第2土曜に運営されています。

子ども食堂が登場した背景は「中流の底割れ」です。バブル崩壊後の景気低迷で派遣とか契約社員といった非正規の不安定な雇用が増え、生活保護水準以上の収入を得られない「ワーキングプア」が出現。正社員との経済格差が拡大し、それが進学断念といった「子どもの教育格差」へ波及していくという現象も見られています。行政の児童福祉施策には不十分な面も多く、貧困家庭の子どもへの欠食・孤食を捨て置けないと、都市部の女性ボランティアらが立ち上がったのが子ども食堂です。ただ貧困対策が前面に出過ぎると、逆に参加しづらいという声もあり、最近では「居場所づくり」を目指す団体が増えています。

それではバブル以降のユニークなキーワードを手がかりに世相をみていきましょう。

僕らが学生から社会人なりたての頃はバブル絶頂期でモテる男の条件は「3高」（高収入、高学歴、高身長）でした。それがバブル後には「3平」（平均的年収、平穏な性格、平凡な外見）になりました。3高に比べると、高い理想は追わず、極めて現実的になってきたと言えるでしょうか。

さらに最近のモテる条件は「3低」

（低姿勢、低リスク、低依存）だそうです。低姿勢は妻に対して威張らないという意味。低リスクはリストラの危険が低い。低依存は家事や育児などで妻への依存度が低いこと。家事参加へのハードルが低いとも言い換えていいでしょう。「メシまだ?」「靴下どこ?」の妻任せでは済まない時代になっています。今や「カジメン（家事のできる夫）」「イクメン（育児にいそしむ夫）」が推奨される世の中ですから。これに低燃費（節約できる）を加えて「4低」とも呼ばれるそうです。

ただ、3・4低男には結婚するメリットがないと、笑うに笑えないオチもあり、少子化の加速を心配する声も出ています。

以上、子ども食堂から3低まで世相を表す言葉をピックアップしてきました。少しは会員スピーチらしく締めくくらせていただきます。時代の変化を映し出す流行語やキーワードを糸口にして社会の状況や出来事にじっと目を凝らすと、Making a differenceの活動につながるヒントが得られるのではないかと、自分なりに考えた次第です。



大原隆司会員

4月1日付けで高知支店勤務となり、クラブを退会することとなりました。1年半余りでしたが皆様には大変お世話になりました。

多分、高知クラブに入会させていただくことになると思いますので、何かの機会にはお会いできます。尚、後任も決まり次第入会させていただきますので、今後ともよろしく願いいたします。

【出席報告】 ・会員総数51名（免除会員4名）

・本日の出席/27名 60.00%

・先週の訂正 MU7 68.89%→84.44%